

じゅくこう

十一月二十八日(日)当山の護持会である浄覚寺門信徒会の臨時総会が長原会館で行われました。委任状を含め五十六名のご参加をいただき、無事にご賛同を得ることができました。

以前の「じゅくこう」でもお知らせしておりましたが、本堂の再建についてと会則改正について、ご協議をいただきました。何度も書かせていただくことは恐縮ですが、本堂西側の屋根(庇部分)が折れ曲がり、三本の支柱で支える応急処置をしております。また、それ



だけでなく本堂外陣の南東部からと内陣南余間から水浸しになるほどの雨漏りがありました。そのたびに役員・総代さんにご相談させていただきました。相談させていたのですが、雨漏りの原因を見つめることは難しく、尚且つ修復をしようにも部分的に直すことは現実ではないという判断です。それならば、これらの状況を本堂再建に向けて動き出すきっかけとするべく、積み立てを始めさせていただこうということになりました。そのためにもまず皆さまのご意見を聞かせていただくこと、臨時総会に至ったという訳です。

浄覚寺門信徒会 臨時総会

色々なご意見をいただきました。例えば、どのような本堂を建てるのか分からず、見積もりもないのに目標金額を決めるのはおかしいのではないかと。もちろんこの度の目標は本堂の再建にあるのですが、具体的な形を先に決めていっているのではなく、五年前に同規模の本堂を建て替えられたご住職に内容を聞かせてもらい、その金額を現時点ではあくまでも参考としてあげさせていただきます。今はまだ第一歩を踏み出す、動き始めるというごことを目的にしております、とお答えをさせていただきます。また、今回の総会を開くため会則を確認したところ

第32号
(通算372号)

発行元
浄土真宗本願寺派
吉富山 浄覚寺
大阪市平野区
長吉長原3-1-10
06-6790-8350

浄覚寺ヨガ教室

- ・12月15日(水) 10時~11時半
- ・参加費500円
- ・浄覚寺本堂にて

☆ヨガマットは貸し出しもありますので、どなたでもご参加いただけます。



実質の運営と相違しているところがありました。本来は会則に定められたように運営をすべきところですが、長年にわたり慣習で行われていたことも一定評価し、この度の本堂再建のような重大な事案については総会でご判断をいただき、例年の行事等は現行の運営委員会で行うことを会則で明記することができました。積み立ては明年の四月頃より始めたいと考えております。厳しい時代ではありますが、ご理解、ご協力の程、お願い申し上げます。

人間は互いに

許し許されて

生きています

《瀬戸内寂聴》



御文章に聞く(第28回)

参考文献：『御文章 ひらがな版を読む』 天岸淨園著 本願寺出版社

今回も御文章(蓮如上人からのお手紙)を味わっていきたいと思います。今月からは新しい章に進みたいと思います。五帖第五通に配される信心獲得章です。まずは大意から。

「他力の信心を獲るとは、阿弥陀仏の第十八願を心得ることでありませぬ。その第十八願を心得るとは、第十八願の

信心獲得章(五帖第五通)

信心を得ずというは、第十八願をこころうるといふは、この願をこころうるといふは、南無阿弥陀仏のすがたをこころうるといふは、念の処に、南無と帰命する一、念の処に、発願回向のこころあるべし、これすなわち、弥陀如来の凡夫に回向しますます。令諸衆生功德成就と説けり、

信心という言葉は、広く諸宗教に使われますが、浄土真宗では他力の信心といえます。とても重要なところですよ。蓮如上人は他力の信心とは「第十八願をこころうる」「南無阿弥陀仏のすがたをこころうるなり」と、第十八願の内容であり、南無阿弥陀仏の道理を心得ることだとあらわされました。

内容を知るとともに、この願が完成したことをあらわす、南無阿弥陀仏のいわれを心得ることでもあります。私たちが南無と阿弥陀仏の仰せに帰すること、私たちがたすけようとされた、阿弥陀仏の本願力のおかげに他なりません。そこには阿弥陀仏のすべてのお徳が回向されています。このころを『仏説無量寿経』(『大経』)に「もろもろの衆生の功德を成就せしむ」と説かれたのです。

仏教語辞典



一蓮托生

死後、極楽浄土で同じ蓮の花の上にもまれることをいう。阿弥陀如来は優劣や師匠弟子の違いなく極楽浄土へ救うことから、このよくな表現となっている。今は「結果はどうあれ運命をもにすること」という意味になっているが、本来は同じ信心を持つもの同士が極楽浄土での再会を願う言葉である。

『気になる仏教語辞典』
著・麻田弘潤 誠文堂新光社
仏教にまつわる用語をイラストとわかりやすい言葉で読み解かれています。ぜひお買い求めください。

編集後記

今月も「じゅこつ」をお届け致します。

・浄覚寺門信徒会の臨時総会が無事に終わりました。色々ご意見はありましたが、ご賛同をいただきましたおかげで、浄覚寺本堂再建に向けての積み立てをスタートさせます。もちろん、すぐに建ち替わることではありませんが、より良い方向へ向かっていけるよう話し合いを続けて行きたいと思っております。ご協力の程、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

・先月二十九日、天王寺楽所雅亮会による第四十九回雅楽公演会「和国の教主(聖徳太子と天王寺舞楽)」がフェスティバルホールで行われ、住職も出演をさせていただきました。今月下旬から雅亮会のYouTubeチャンネルで無料配信されます。年末年始、お時間がありましたらぜひご覧ください。(釋法道)

行事案内

日時・十二月十九日(日) 十三時～十六時
行事・浄覚寺こども会 冬のついで
場所・長原浄覚寺 詳細は別紙にて

(なお、当日のお参りはお休みをさせていただきます)



令和四年一月一日(祝) 十四時より
元旦会 法話寺西寛水先生(節談説教)

